

令和7年度 事業報告

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人石見銀山資料館

令和7年度における当法人の事業内容について、「資料館事業」および「指定管理事業」の2つの主要部門に区分し、以下の通り詳細を報告する。

1. 資料館事業

令和7年度はコロナ禍以前には及ばないものの令和2年度以来入館者が1万人を超えるなど徐々にではあるが回復の兆しがみられた。

資料館事業においては、大田市からの補助金を有効に活用し、地域の歴史的・文化的資産を広く発信するための先進的な取り組みと、施設環境の整備を実施した。

① 補助金採択事業の推進

本年度は「石見銀山デジタルミュージアム制作」および「石見銀山済生香探求プロジェクト」の2つのプロジェクトを展開した。

石見銀山デジタルミュージアム制作：最先端の技術を用いたバーチャルミュージアムを構築した。完成したコンテンツは東京および名古屋の都市圏において広く一般に公開され、現地の来場者から非常に高い評価を得ることに成功した。遠方からの認知度向上に大きく寄与する成果となった。

石見銀山済生香探求プロジェクト：石見銀山に深くゆかりのある歴史的な背景を活かした独自の新たな商品開発を目指した。本年度は、大森町内の薬草を調合した「お香」の試作品開発に取り組み、一定の手応えを得た。次年度（令和8年度）には、この試作品をベースとした本格的な商品化を計画している。

② 展示・イベントの開催と地域交流

文化芸術の振興と地域コミュニティの活性化を目的とした多様な催しを実施した。

企画展示：田中なる氏および渡邊英守氏の協力を仰ぎ、絵画・写真展を合同で開催した。展示期間中には、作家本人によるライブ制作やトークイベントを同時開催し、来館者が芸術に直接触れる貴重な機会を創出した。

体験型イベント：龍村周氏を講師に迎えた伝統工芸ワークショップや、地域に開かれたイベントとして「門長屋フェス」などを開催した。これらの多様なイベントの実施により、幅広い層の人々が集う新たな交流の場を創出することができた。

③ 施設環境の整備

来館者の快適性と安全性を確保するため、長年の使用により老朽化が著しかった展示室のエアコン（空調設備）について、補助金を活用して最新の設備へと更新した。これにより、次年度以降も安定した展示環境を維持する基盤が整った。

2. 指定管理事業

本年度は現行の指定管理業務の5年契約における最終年度にあたるため、これまでの5年間の集大成にふさわしい成果を上げることを組織全体で強く意識した。同時に、次期の指定管理契約の継続・獲得へと繋がるよう、質の高い管理運営と創意工夫に努めた。

① 公開施設の運営状況と実績

公開施設の入館状況およびそれに伴う収入については、全体としておおむね好調に推移した。これは、NHKドラマの放送によるパブリシティ効果に加え、実施した入館料金の値上げ改定が寄与したものである。

施設ごとの詳細な実績は以下の通りである。

熊谷家：入館者数は9,534人（前年比11%増）、入館料収入は約426万円（前年比12%増）となり、客数・客単価ともに前年を上回る堅調な伸びを記録した。

旧河島家：入館者数および入館料収入の双方が、前年比20%増という非常に大きな成長を遂げた。これにより、入館料総収入が目標の指標であった100万円の大台を突破することに成功した。

② 宿泊事業（宗岡家）における課題

一方で、宿泊事業の「宗岡家」の運営においては明確な課題が浮き彫りとなった。本年度は例年受け入れていた大学の実習（合宿等）の利用がなかったことが大きく響き、利用実績が激しく低迷した。宿泊者数は170人、収入は約72万円（前年比22%減）となり、全体の利用規模としては前年比の約7～8割程度にまで落ち込む結果となった。特に夏季をはじめとする繁忙期の利用をいかに安定させるかが、今後の経営における極めて重大な最優先課題となった。

③ 自主事業の展開と評価

利用者の新規開拓や体験価値の向上を狙い、多彩な独自の新規企画を打ち出した。

具体的には、地域文化を体感できる「竹細工展示」のほか、伝統的なかまどを用いた「餅つき体験」、地域資源を活かした「野草茶づくり」や「さつまいも味噌づくり」といった体験型プログラムを精力的に実施した。

これらの取り組みは、これまでアプローチできていなかった新たな顧客層の開拓に繋がっただけでなく、各種メディアへの露出増加という副次的な効果も生み出した。日本の伝統的な文化体験プログラムとして、参加者から非常に高い評価を獲得することに成功した。

2 事業内容

事業名	事業内容	実施予定の 日時、場所、	受益対象者の範囲 及び予定人数	事業費 (単位：千円)
石見銀山資料館の 管理運営事業	入館券の販売、展示解説、遺跡のガイダンス 企画展「錦織の美」展 (9/3～9/8)	通年 石見銀山資料館	一般・小人 10,832人 (企画展165人)	5,793
大森の町並み関連 施設指定管理事業	町並み3施設管理運営 ・熊谷家住宅 特別展「竹細工」展 企画展「おつきさまの えほん」展 ・旧河島家 ・宗岡家	通年 熊谷家 " 河島家 宗岡家	一般・小人 9,534人 (特別展704人) (企画展2187人) 4,733人 170人	24,632
書籍・物品等の販売 事業 自主事業	・書籍地場製品の販売 ・イベント ・書籍地場製品の販売 ・イベント	通年 石見銀山資料館 " 熊谷家 "	一般・小人 ショップ 55人 ショップ 293人	250 349
受託事業	・石見銀山デジタル ミュージアム制作 ・大田市環境教育ウェブ サイト制作	石見銀山資料館 通年	一般・小人	3,600
その他法人の目的 の達成に必要と認 められる事業	・石見銀山済生香探求 プロジェクト 「鉱山を癒した草木と 香り」商品開発 ・バーチャルM	石見銀山資料館 熊谷家住宅 通年	一般 31人	432 1,381